我孫子市消費者の会　お知らせ

２０２１年6月１６日　第４７期　Ｎｏ．３－５３９
事務局　〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方　TEL 04-7183-1434
http：//www.abikoshi-syouhisyanokai.net/wp/

梅雨入りが１４日に発表されました。皆様お元気でしょうか？

千葉県は新型コロナウィルスのまん延防止等重点措置が６月２０日まで延長されています。

ワクチン接種が始まりました。もうお済みになりましたか？我孫子市は、今は多くの病院で行なうようになりましたが、それでも予約を取るのに各地域で混乱したようです。　何事も初めてのことで、市の方も大変なのでしょうが、このワクチンで、少しでも感染が抑えられることを願っています。皆様も今まで通り、かからないように万全の対策はお取りください。

訃　報

会員 宇津野直子さんが５月１４日ご逝去されました。５月定例会で皆さんで黙祷しました。心からご冥福をお祈りいたします。

市民のチカラまつり企画部門に参加

当会は映画上映会を行います。先月も書きましたので、今回はチラシを同封します。定例会でご覧にならなかった方はこの機会にどうぞ。

「プラスチックごみ～日本のリサイクル幻想」
「終わりのない原子力災害」

お友達をお誘いください。申込制、和田へ。

７ 月 の 定 例 会

日時　７月５日（月）13:30～16:00
場所　南近隣センター８F　和室

市民のチカラまつりの上映会と続きますが、ご出席ください。和室なので密を心配しますが、皆様気をつけてご参加ください。

８月の定例会はお休み

東北を忘れない旅も中止です。

９月定例会は６日（月）　第１会議室

原子力緊急事態　今も続く

京都大学原子炉実験所で原子力を廃絶するための研究を重ねてきた**小出裕章**さんを知っていらっしゃいますか？学生の時に原子力を知り、推進の研究をしてこられた方です。

４月１８日（日）に芝白金の明治学院大学のホールで講演がありました。コロナ禍でためらいましたが、３００人の会場に８０人という主催者側（連続講座＜ヒロシマへヒロシマから＞竹内氏）の配慮も心して受け止め、加藤さんと和田が参加しました。

講演の題名は「原発の終わらせ方～福島原発事故から１０年のいま」でした。

小出さんは、原子力は「差別」の問題だと言われました。産業の無い過疎地で作った原子力発電を、都会の人が使う。そして事故によって今も、４万人が故郷に帰れないと。福島の事故によって地球に放出された放射能は広島原発の１６８発分。これを封じるには、チェルノブイリで作った石棺しかないとも言われました。

この講演会の概要をみごとにまとめてくださった竹内良男氏（いつもは駒込で４０人くらいの講座を実施）に感謝して、裏面に印刷します。

我孫子市消費者の会では東京電力でなく、自然エネルギーで発電した電気を使おうと、呼びかけています。

小出裕章氏の著書

「騙されたあなたにも責任がある」
２０１２年　幻冬舎刊

「原発事故は終わっていない
福島原発事故から１０年」
２０２１年２月　毎日新聞出版

市民活動団体の紹介(5)

今月は和楽園特別養護老人ホームのボランティアの会を立ち上げられた重田幸子さんに書いていただきました。

和楽園ボランティアの会を立ち上げて

重田　幸子

振り返ってみれば和楽園ボランティアの会を立ち上げて３０余年になります。私の市民活動の原点になりました。

一時連れ合いの転勤で大阪で暮らした時、女性の生き方を学び直した日々でした。我孫子に戻り、これから何をしようかと、当時中央公民館講座担当だった伊勢さんに相談して、継続活動中の「老いへの対応をさぐる」会に入れていただきました。

特別養護老人ホーム「和楽園」の施設長を友人の宇野真理子さんが引き受けられたので、ボランティアを引き受けようと､話が進みました。宇野さんからは「ボランティアと言っても施設が必要な人にきちんと来て欲しい」と言われました。毎月予定表を作成し月曜日～土曜日午前・午後各２名が入ること、交通費＋αを園が用意してくれること等を決め、ボランティアを募集しました。

交通費の支給については、各々が連れ合いの収入から出すのでは長続きできないこと、責任と自覚をもってやることと考えていたからでした。当時ボランティアは「できる人が・できる時に・できる事」をするという考えが普通でしたから交通費を貰うなんて…と不評でした。少し早かったのでしょう。思いがけず沢山の応募があり６月から活動を開始しました。活動の内容は話し相手・ベットメイク・排泄の世話・入浴介助は短パンを履いて浴室にも入りました。宇野施設長の考えはボランティアが介護について学び体験したことを近隣に広めたいということでした。

現在は制約ができて、話し相手・洗濯もの畳み・庭の手入れ等をしています。私は施設長の勧めで全国社会福祉協議会主催の「高齢者の為の心理学講座」に私費で参加しました。参加者は施設長や看護師など専門職の方ばかりでボランティアは私１人で珍らしがられました。研修内容は勿論この方々や講師との出会いは貴重な体験でした。

あい・あびこの立ち上げ

その後、市の福祉部長からの提案で在宅高齢者の支援団体を創れないかとの声掛けがあり、高齢者に関わる活動をししていた人…和田さん・栗原さん・梅田さん・中丸さん等が集まり話合い、２０数名で「あい・あびこ」を立ち上げました。協力会員のための研修会は３級ヘルパーの資格取得の内容に洗濯などの項目を増やし、講師は「高齢者の為の心理学講座」で出会った大学教授や慈恵医大病院の医師などが協力してくださいました。こちらの募集には７０名以上の応募があり研修会場がなくて午前・午後２回開催したこともありました。私は５年間コーディネーターをしました。

その間にコペンハーゲン大学の伊東敬文先生の案内で、デンマークの福祉・教育・市議会の在り方などの見学会も参加しました。

この間「和楽園ボランティア」は在籍のみとなりました。現在は手芸班として毎月１回和楽園で活動しています。園内の居室入口ののれんや食堂入口の飾りづくりの他、年間を通じて作成した手作り品を産業まつりのバザーで販売し、売り上げで利用者全員に手作りプレゼントするための材料費に当てています。残念ながら昨年３月からはコロナ禍で休止中です。

これまでのどの場面でも消費者の会の方々とご一緒で深いご縁と感謝しています｡「興味を持ったら自ら関わってみる」が私流です。　　以　上

続く コロナ禍の悪質商法

「お金を出せば早くワクチンが打てる」などと言ってお金を振り込ませようとする詐欺電話があります。また、デジタル化が言われている中、契約書面をタブレットで見せて、後でメールで送っておきますからねなどと言われ、そのまま。書き換えられてもわかりません。ご注意ください。

どうぞ皆様お元気で！！